



新津川 okaeri\*kakari Project

# おかえり\*灯り ぷろじえくとIV

令和4年10月30日(日) 13:00~16:30  
新潟市立新津第二小学校 体育館  
主催：新津東部コミュニティ協議会、新津第二小学校、新津第二小学校PTA  
協力：新潟大学教育学部美術科、新津第五中学校美術部、新津東保育園、  
新津カトリック幼稚園

新潟市補助事業



新津川おかえり☆灯りぷろじえくとIVは、新津第二小学校、新津第二小学校PTAと新津東部コミュニティ協議会が協働で開催し、新津第二小学校の児童、新津東保育園、新津カトリック幼稚園の園児、新津第五中学校美術部の生徒さんに参加頂きながら、日本画家、東北芸術工科大学教授長沢 明先生、新潟大学教授丹治 嘉彦先生、橋本 学先生の指導を頂き、昨年以上に賑やかに行われました。

昨年に続き、「大きな生き物かべ灯ろう」「泡灯ろう」「サケねぶた灯ろう」「箱灯ろう」「紙灯ろう」に加えて、今回は、「枝灯ろう」「コップ灯ろう」を制作し展示しました。

様々な灯ろうの灯りに彩られた幻想的な空間の中で、昨年同様に秋葉区を拠点に世界的に活躍する舞踊家土田貴好さん、小倉藍歌さんによるダンスパフォーマンスが、秋葉区教育支援センター 教育主事本田 和彦さんのピアノ演奏にあわせて行われました。

長沢先生には、二小4年生を対象に、「大きな生き物かべ灯ろう」を制作するワークショップを指導して頂きました。丹治先生、橋本先生には、「サケねぶた灯ろうづくり」の下準備を行って頂くとともに、五中美術部の皆さんへの指導、体育館の灯ろう展示の指導・監修も行って頂きました。

10月30日(日)は、新津第二小学校の文化祭に併せ、秋葉区 長崎区長はじめ多くの来賓の方々のご出席を頂き、点灯式、ダンスパフォーマンスが行われました。

ご来場頂いた皆さんには、灯ろうの灯りで醸し出された幻想的な空間の中で行われたピアノ演奏・ダンスの融合を十分楽しんでもらえたと思っております。ご協力頂いたすべての皆さま、ご来場頂いた方々に感謝申し上げます。

総務部 渡邊

### ●ダンス衣装デザイン審査

ダンサーの衣装は、二小の6年生がデザインしたものを、ダンサーの土田さん、藍歌さん、衣装制作を担当した伊藤さんを中心とした審査会で決定されました。







●点灯式セレモニー

●点灯式セレモニー

区長はじめ多くの来賓の方々にご出席頂き、点灯式セレモニーが行われました。

主催者あいさつ、来賓紹介、来賓あいさつの後、全員でカウントダウンを行い、体育館の照明を消す、点灯式を行いました。



●主催者あいさつ  
東部コミ協 斎藤会長



●来賓紹介  
新津第二小学校 渡辺校長



●来賓あいさつ  
秋葉区 長崎区長



●ダンスパフォーマンス

点灯式の後、6年生が「サケの長い旅」をイメージして考えたナレーションを行い、それに続いて、ダンスパフォーマンスが行われました。土田さん、藍歌さんの衣装は、二小6年生がデザインした物をもとに、二小PTA会長の伊藤さんが制作したもので、「サケの鱗」をイメージしています。

2人の姿は、懸命に川を遡上し、産卵する「サケのカップル」、風船は、次代へ命と希望をつなぐ、サケの卵にも見えました。

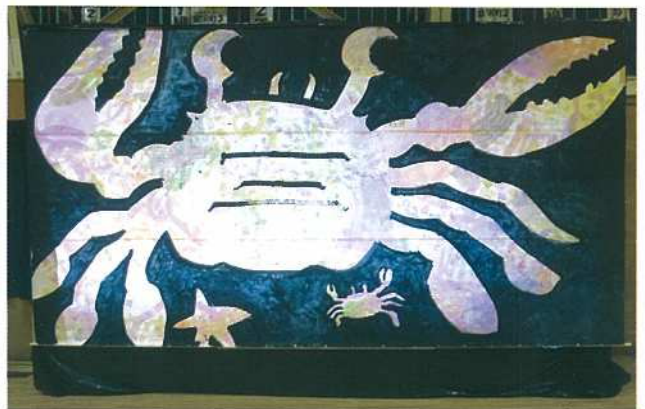


●大きな生き物かべ灯ろう：長沢 明先生ワークショップ

長沢先生の指導のもと、二小4年生が、大きな紙に、思い思いの色を付け、その後、その絵の中に「どんな生き物」が見えるのかをみんなで話し合っ、その生き物の輪郭を長沢先生に描いてもらい、生き物の背景をみんなで黒い色で塗り、最後に子どもたちの代表が「目」を入れ完成させました。



●「なかよく遊んでいるタコとイカ」



●「なかよく遊ぶカニの親子」

●「紙灯ろう」「コップ灯ろう」「枝灯ろう」「箱灯ろう」「泡灯ろう」「サケねぶた灯ろう」

学年ごとに、自分たちの夢や希望を託した「灯ろう」を制作しました。「紙灯ろう」は、1, 2年生の他に新津東保育園、新津カトリック幼稚園の園児にも制作してもらいました。



●紙灯ろう：1, 2年生  
新津東保育園  
新津カトリック幼稚園



●コップ灯ろう：3年生



●枝灯ろう：4年生



●箱灯ろう：5年生



●泡灯ろう：6年生



●サケねぶた灯ろう  
土台作り：五中美術部



●サケねぶた灯ろう  
色付け：6年生





## 第14回 東部地区文化展開催される

10月30日(日)新津第二小学校の文化祭に併せて、第14回東部地区文化展を開催しました。

当日は多数の皆様にご来場と作品の鑑賞をいただきありがとうございました。町内回覧を通じて、作品の出品をお願い致しました所、個人の参加者が40名で、50点の作品の出品をいただきました。

今年度も昨年に続き、ご婦人方の手芸品の出品を多数いただきました。又、丹精込めて育てた盆栽、時間をかけて根気良く作り上げた手芸品、他に彫刻、写真、絵画等素晴らしい作品ばかりでした。

地域の大勢の方々に出品と鑑賞のご協力をいただき大変ありがとうございました。

この文化展を機会に東部地区の皆様との親睦を深めながら、さらには地域と学校の絆を強め、皆様の作品を介して「顔の見える関係づくり」に役立てればと願っております。

文化教養部 佐々木



## これからの新津東部コミュニティ協議会の取り組みについて

東部コミ協は、平成19年3月11日に設立し、その後、各種の行事・イベント等を通じて、住民相互の交流、世代間の交流を促すことで、「顔の見える地域づくり」のきっかけを作ることを目的に活動を行ってまいりました。

令和4年度で、東部コミ協活動は、16年目を迎え、これまでの活動を通じて何とか地域内に「顔の見える関係」を少しでも築くことが出来たこと、世代間交流を通じ、新津第二小学校との協働関係を構築することが出来たこと、地域内で福祉活動に取り組む組織づくりが出来たことが大きな成果ではなかったかと思っております。

今後は、この「顔の見える関係づくり」の成果を基盤として、「安心・安全な地域づくり」という大きな課題に取り組んでいきたいと思っております。

そのために、特に「福祉」と「防災」に着目して、これまで以上に多くの皆様方のお力を頂きながら、具体的な活動を少しでも進めていきたいと考えておりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

新津東部コミュニティ協議会 会長 斎藤 龍秋



### ● 新津東部コミュニティ協議会だより ●

—令和5年1月号—

- 発行者：新津東部コミュニティ協議会
- 発行人：斎藤 龍秋
- 事務局：新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号  
新津地区勤労青少年ホーム内  
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：㈱トーヨービジネス

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

まだまだ、コロナウイルス、物価高等で先の見えない状況が続いておりますが、皆で支え合いながら何とか乗り越えることが出来ればと願っております。

コミ協が目標とする「安心・安全な地域づくり」に向けて総務部も令和4年度内に「二小避難所運営委員会」を設立出来ればと考えております。

総務部 渡邊